

防衛省 本省内部部局

～国家一般職採用～



自己紹介

磯野 裕也（いその ゆうや）

兵庫県 出身 入省 17 年目



（イージス艦を訪問したときの写真）

2005年 海上自衛隊

2013年 大臣官房文書課

法令審査

2015年 人事教育局服務管理官付

自衛官人事
(栄典)

2017年 整備計画局防衛計画課

弾道ミサイル
防衛

2019年 地方協力局地方協力企画課

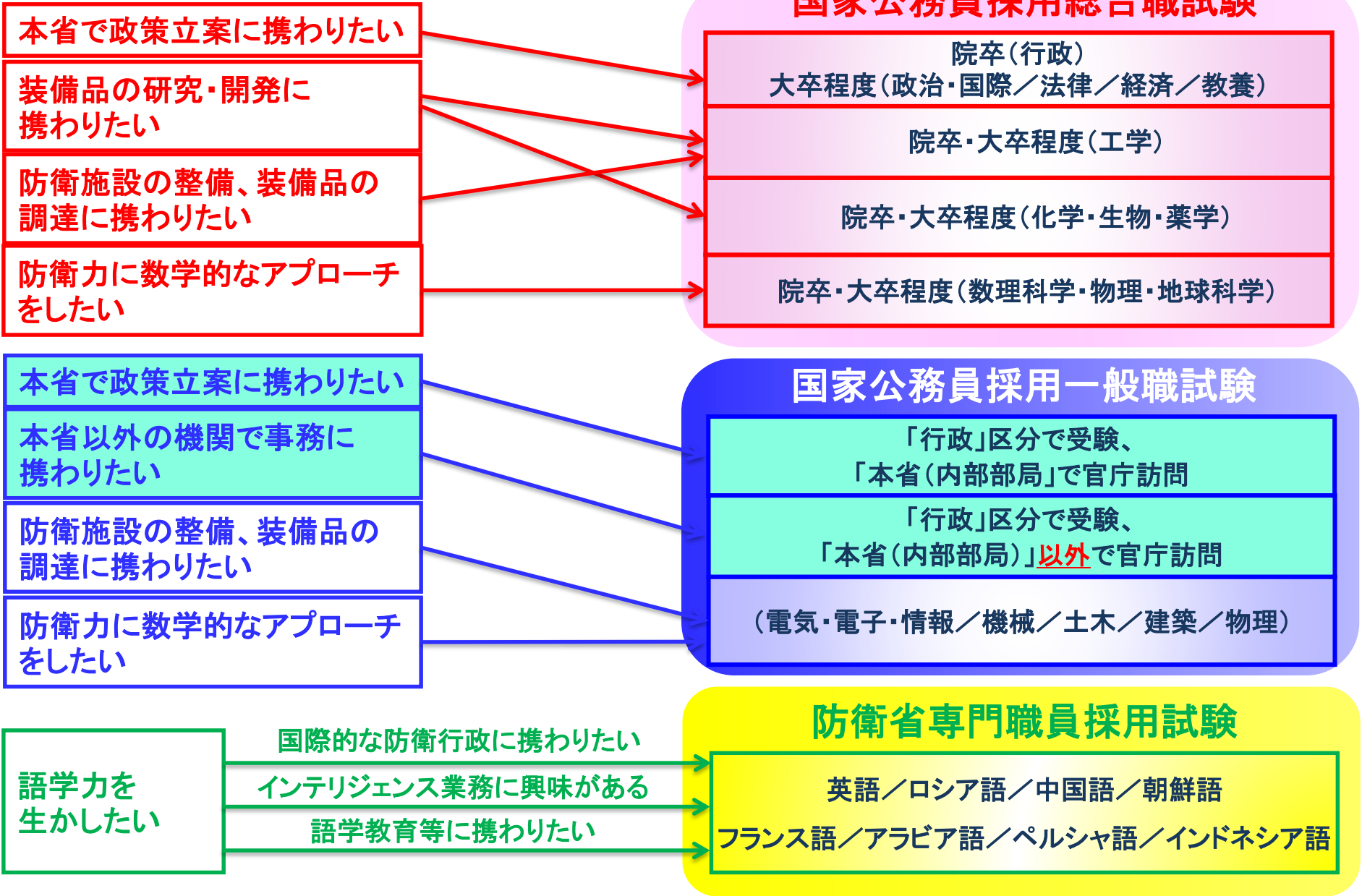
地元調整

2020年 大臣官房秘書課

事務官人事
(採用)

趣味：野球観戦、旅行、ジョギング

はじめに(防衛省の採用区分)



はじめに(防衛省の採用予定機関)

防衛大臣

防衛省本省内部部局／所在機関(新宿区市ヶ谷)

防衛大学校(神奈川県横須賀市)

防衛医科大学校(埼玉県所沢市)

情報本部(新宿区市ヶ谷など)

統合幕僚監部(新宿区市ヶ谷)

陸上自衛隊(新宿区市ヶ谷ほか全国各地)

海上自衛隊(新宿区市ヶ谷ほか全国各地)

航空自衛隊(新宿区市ヶ谷ほか全国各地)

地方防衛局

- ・ 札幌市
- ・ 仙台市
- ・ さいたま市
- ・ 横浜市
- ・ **大阪市**
- ・ 広島市
- ・ 福岡市
- ・ 嘉手納町ほか、全国各地の防衛事務所

防衛装備庁(新宿区市ヶ谷)

：行政・技術

：行政のみ

：技術のみ

※緑・赤・青枠は2021年度採用予定機関を示す。
採用活動は各機関個別に実施しており、採用
予定者数も 機関別に算出している。

今日みなさんにお話ししたいこと

1 防衛省の使命・政策分野

2 国家一般職
本省内部部局採用とは

3 キャリアパス

防衛省

わが国を取り巻く安全保障環境

地理的条件

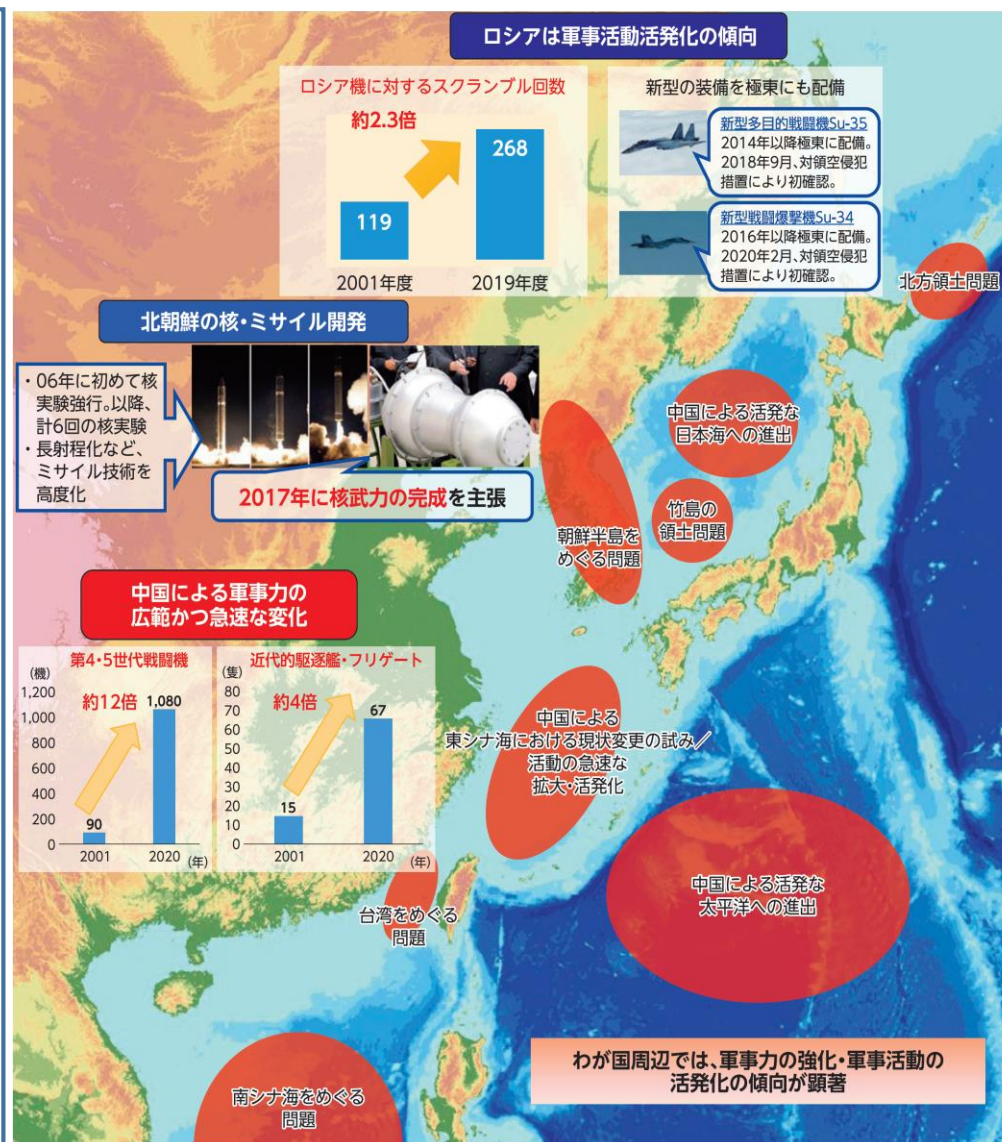
- 四方を海で囲まれた海洋国家
 - ✓ 本土から離れた多くの島嶼及び広大な排他的経済水域を有している
 - ✓ エネルギー資源や食料の多くを海外との貿易に依存

安全保障環境

- わが国周辺には、質・量に優れた軍事力を有する国家が集中し、軍事活動の活発化の傾向が顕著
 - ✓ インド太平洋地域は、十分な安全保障面の地域協力の枠組みなし。
 - ✓ 近年、国家間の競争が顕在化

国内事情

- 少子高齢化・人口減少が進展し、厳しい財政事情が続いている



防衛省の使命

防衛省は、我が国の平和と独立を守り、
国の安全を保つため、様々な使命を担っています。

我が国の
安全保障の確保



災害派遣



海賊対処活動
国際平和協力活動



事務官と自衛官

事務官（背広組）

自衛官（制服組）



連携



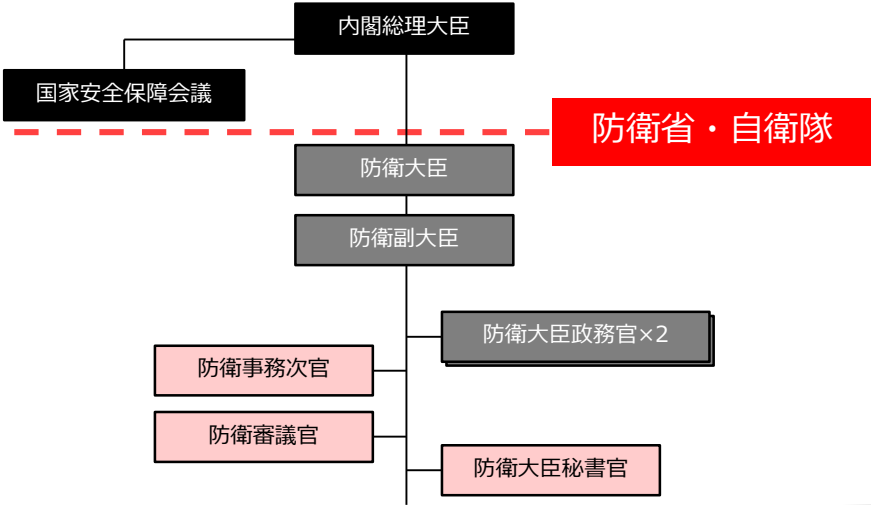
政策・制度のプロ

軍事のプロ

政策立案、法律案等作成、対外説明を担当
政策・制度面で防衛大臣を補佐

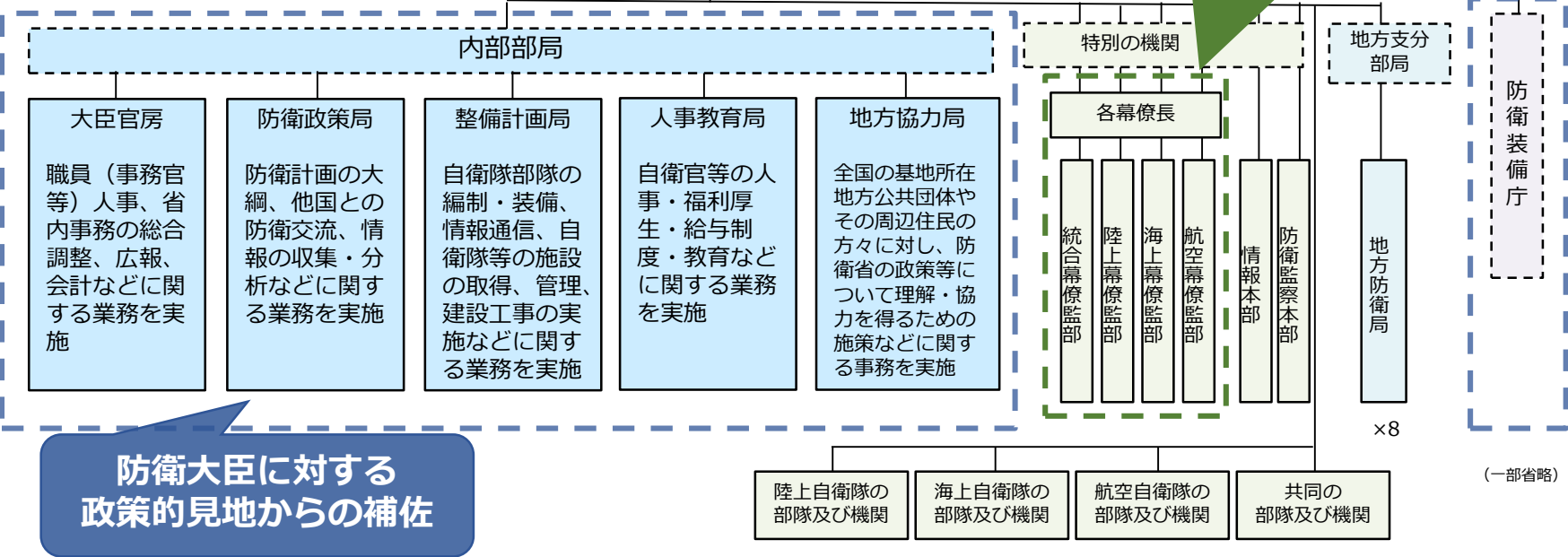
軍事作戦の立案、部隊指揮を主に担当
軍事面で防衛大臣を補佐

防衛省・自衛隊の組織



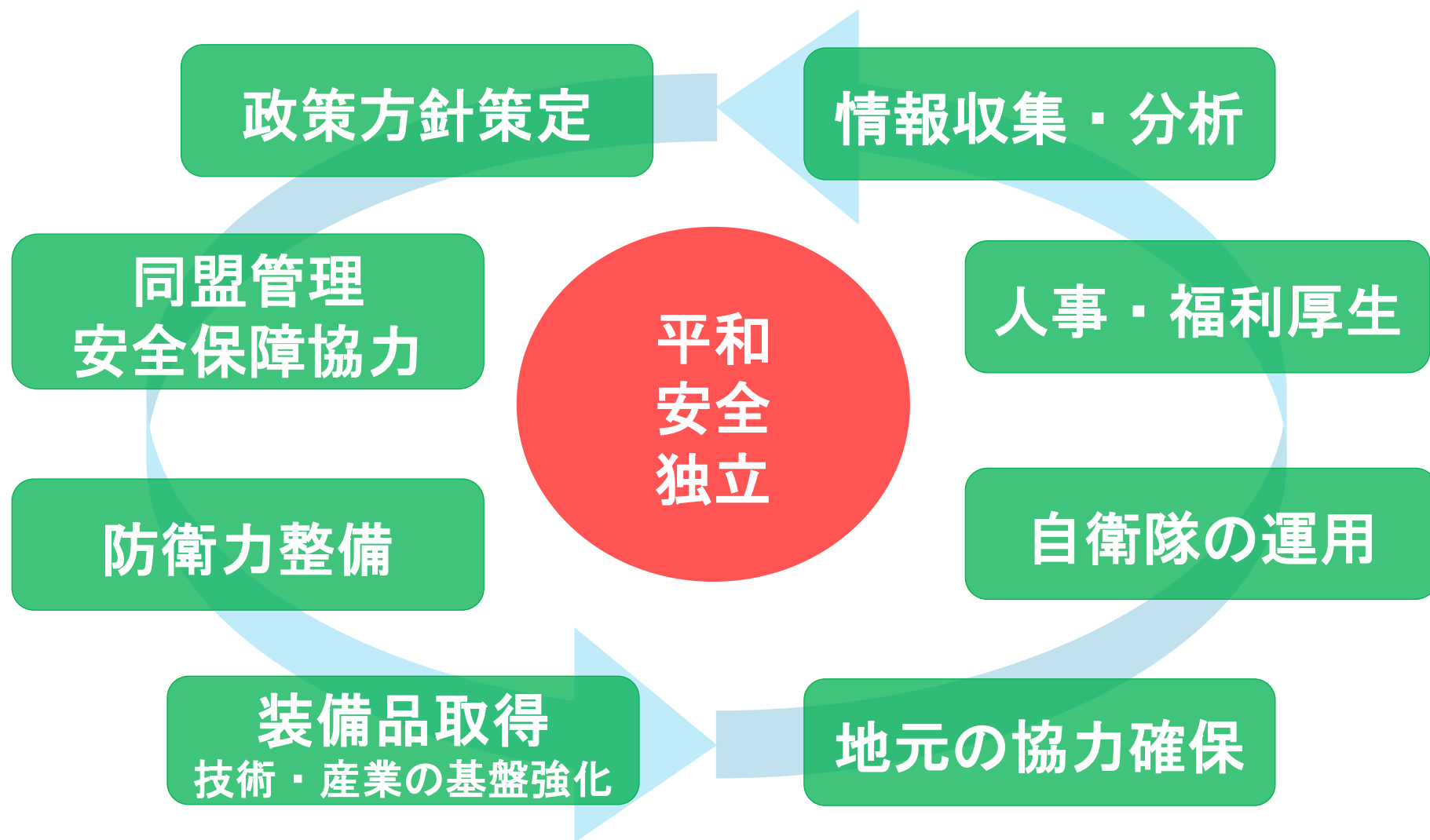
令和元年度末定員		
自衛官	事務官等	計
247,154	20,903	268,057

防衛大臣に対する
軍事専門的見地からの補佐



防衛大臣に対する
政策的見地からの補佐

防衛省の政策分野・領域（イメージ）



各部署が有機的に連関

情報収集・分析（インテリジェンス）

- 防衛政策を立案し、防衛力を効果的に運用するため、我が国周辺地域における中長期的な軍事動向を把握するとともに、各種事態の兆候を早期に察知することが必要。
- 防衛省では、電波情報、画像・地理情報、公刊情報や部隊から得られる情報、各国の国防機関との情報交換など、総合的な情報収集・分析を実施。

衛星のイメージ



P-3C 固定翼哨戒機



レーダーサイト



政策方針策定/防衛力整備①

平成30年(2018年)12月18日、新たな「防衛計画の大綱」「中期防衛力整備計画」を策定

◆ 位置づけ・意義

- 防衛計画の大綱（防衛大綱）は、国家安全保障戦略（戦略）を踏まえ、我が国の防衛の基本方針、防衛力の役割、自衛隊の具体的な体制の目標水準等を示すものとして策定。
- 中期防衛力整備計画（中期防）は、大綱に示された防衛力の目標水準等を踏まえ、5年間を対象として策定する防衛力整備の計画であり、同計画に従い、各年度の防衛力整備を実施。

◆ 戦略・大綱・中期防・年度予算の関係

国家安全保障戦略



戦略を踏まえ策定

外交政策及び防衛政策を中心とした国家安全保障の基本方針
（おおむね10年程度の期間を念頭）

防衛計画の大綱



示された防衛力の目標水準の達成

防衛力の意義や役割、自衛隊の具体的な体制、主要装備の整備目標の水準といった今後の防衛力の基本指針
（おおむね10年程度の期間を念頭）

中期防衛力整備計画



予算となり、事業として具体化

防衛大綱に定める新たな防衛力を実現するため、5年間の防衛力整備の方針や主要な事業を定めた計画

年度予算

情勢等を踏まえて精査の上、各年度毎に必要な経費を計上

政策方針策定/防衛力整備②

- 防衛力は、安全保障を確保するための最終的な担保。
真に実効的な防衛力として「**多次元統合防衛力**」の構築に向け、防衛力整備を着実に実施（装備品取得や部隊新編など）。
- 従来の陸・海・空領域に加え、宇宙・サイバー・電磁波といった新たな領域における能力を獲得・強化。

F-35
増勢



宮古島駐屯地
新編



「いずも」型
護衛艦改修

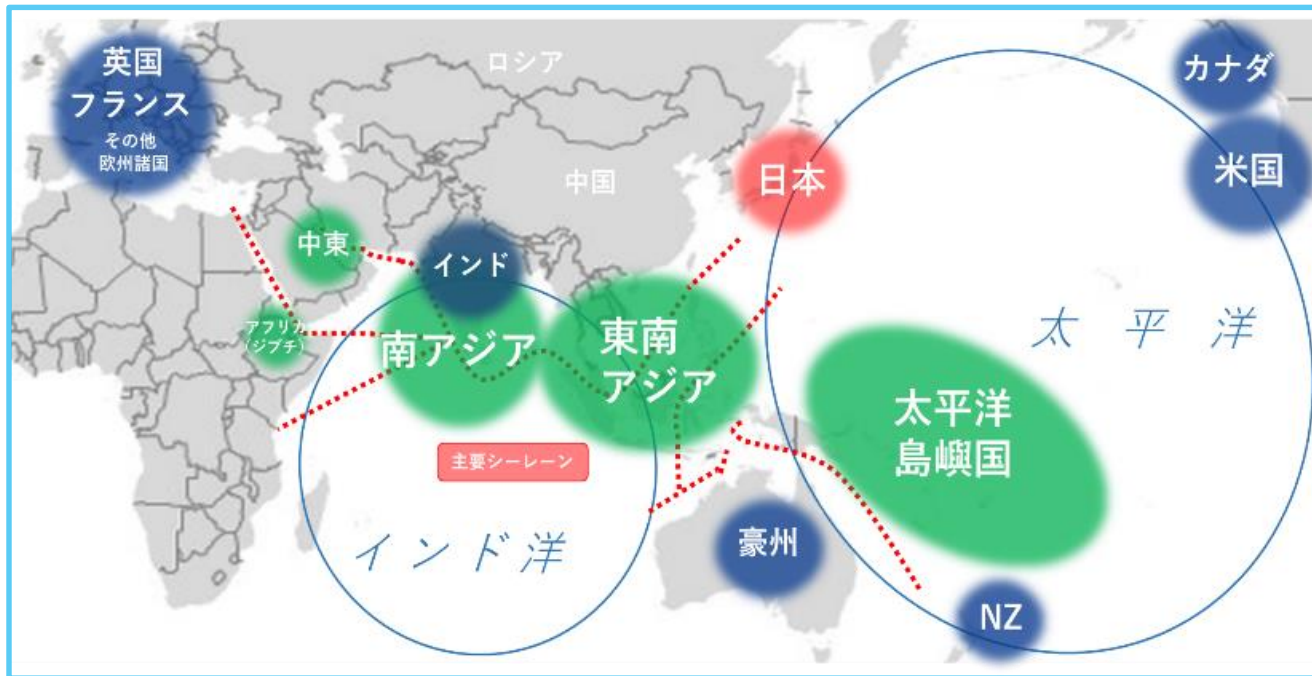


宇宙作戦隊の新編



同盟管理/安全保障協力

- 日本の安全保障の基軸の一つである**日米同盟**を強化
- 「**自由で開かれたインド太平洋 (FOIP)**」というビジョンを踏まえた二国間・多国間の安全保障協力を戦略的に実施。



日米防衛相会談



日米豪共同訓練 (コブ・ノース21)



日英「2+2」@オンライン



独海軍フリゲート艦 大臣視察



パリ国際航空宇宙ショー



日米印豪共同訓練 (マラバル2020)



能力構築支援
(カンボジア軍に対し、道路測量について
オンライン講義を行う陸自隊員)

地元の協力確保



- 国民や地域社会の理解と協力を得るため、**地域コミュニティとの連携**や**基地負担軽減の実現**に取り組む。
- 防衛施設とその周辺地域との調和を図るため、障害防止工事や住宅防音事業などの施策を行う。

岩国航空基地



嘉手納飛行場以南の土地の返還



「地方協力局」の新たな体制

【組織改編の3つの軸】



- ✓ 「地元」との協力に関する機能強化
- ✓ 「環境」問題への対応に関する機能強化
- ✓ 「在日米軍」との協力に関する機能強化

装備品取得

技術・産業の基盤強化

- 近年の科学技術の発展は、安全保障分野にも大きく影響
- 軍事技術の進展を踏まえた技術基盤の強化や、装備品の効率的な取得などを推進し、装備品の質及び量を十分に確保。

装備体系の見直し

技術基盤の強化

装備調達最適化

産業基盤の強靱化

次期戦闘機の開発（イメージ）



日米共同整備基盤



警戒管制レーダーの海外移転



展示会への出展



自衛隊の運用

- 国民の命と平和な暮らしを守る観点から、平素から様々な役割をシームレスかつ複合的に果たしていく。

対領空侵犯措置



大規模災害などへの対応



人事

- 防衛力の中核である自衛隊員の人材確保と能力・士気の向上により、人的基盤の強化に取り組む。

女性初の戦闘機パイロット



WLB（庁内託児施設）



今日みなさんにお話ししたいこと

1 防衛省の使命・政策分野

2 国家一般職
本省内部部局採用とは

3 キャリアパス

国家一般職（本省内部部局）採用とは

- 2014年から国家一般職（本省内部部局）採用を開始
【全試験地域からの採用が可能】
- 主として防衛省本省内部部局において勤務し、
総合職職員とともに、**主に防衛政策※の企画立案**に従事。
⇒ 最終的には、防衛部員、内局における管理職として、
自ら政策を立案し、安全保障関連行政の担い手となる。

※ 防衛省の政策分野は、情報収集・分析（インテリジェンス）、防衛大綱・中期防の策定、陸海空・宇宙・サイバー・電磁波領域における装備体系・部隊編成、日米同盟の管理、安全保障協力の推進、地元との協力確保、自衛隊の行動、危機管理、基盤（人的・技術・産業）強化など多岐にわたる。

- 2021年より技術系の採用も開始【全試験区分からの採用が可能】

今日みなさんにお話ししたいこと

1 防衛省の使命・政策分野

2 国家一般職
本省内部部局採用とは

3 キャリアパス

キャリアパスのイメージ

入省～2年目

内部部局の中心的な部署において、各課の「窓口」業務に従事。様々な業務を見ながら、内部部局での業務の基本を勉強。

3～4年目

地方防衛局や地方協力本部において勤務。本省での勤務経験を活かしながら、**地方の実情に即した業務**を遂行。

5～8年目

内部部局に戻り、政策立案業務を徐々に経験。
選抜を通じ、7年目から国内外の大学院に
おける留学（1～2年間）の機会を付与。

9年目メド

他省庁・民間企業への出向等を通じて新たな視点を獲得し、国家公務員として更に成長。

防衛部員(課長補佐)に昇任

主に、内部部局における**中心的な部署の主力**として政策立案業務に従事。

将来的に、内部部局各課の班長・先任部員等として、マネージャーとしての役割を担う

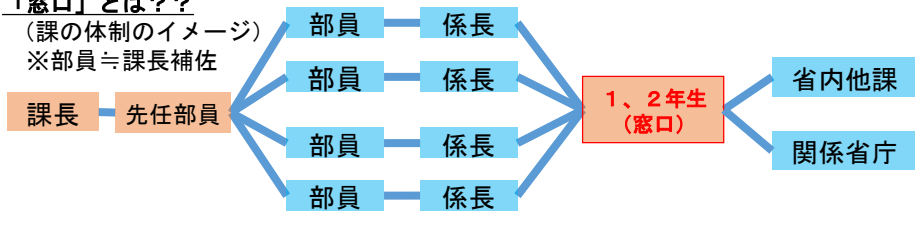
新規採用者合同初任研修

部隊研修



(課の体制のイメージ)

※部員≡課長補佐



係員級選抜研修

係長級選抜研修

キャリアを通じ、各種研修を実施

※ その他、選抜等により業務に応じた研修制度があります。

キャリアパスの一例



ミサイル対応は時間が重要
ニュースと共に素早く業務をこなす

2017年：入省1年目
統合幕僚監部参事官付

- ◎ミサイル対応や領海侵入
災害派遣・PKO業務
- ◎ニュースと業務が常にリンクした
緊迫感のある危機管理部署

2018年：入省2年目
大臣官房会計課

- ◎財務省と日々調整
- ◎法案の策定にも携わる



内局は大臣との距離
が近いのも特徴



海賊対処行動に関するレセプション

2021年：入省5年目
大臣官房秘書課

◎国家一般職本省採用担当



予算担当と共に全国の基地を視察



災害派遣の際に自衛官と共に
予備自衛官の招集・派遣業務にあたる

2019年：入省3・4年目
自衛隊東京地方協力本部予備自衛官課

- ◎自衛官志願者への面接官や広報企画立案等
- ◎企業説明など部外調整要領も学ぶ

地方勤務

本省勤務

最後に



✓ 防衛省のミッション

国民の生命と平和な暮らしを守り抜き、
国際社会の平和と安定に貢献すること

✓ 「安全保障」という国家存立の根幹を担う矜持

防衛省の代わりはどこにもいない、
我々だけが、この重い使命を担っている

✓ チャレンジングな仕事

激動する国際社会で新たに生じていく政策課題、
未知の領域に対する知的好奇心と勇気をもって挑戦する



防衛省採用情報

防衛省の採用情報は

防衛省 採用

検索

でご確認ください。

【防衛省HP採用情報ページ】

採用パンフレットや説明会情報等を掲載しています。

<https://www.mod.go.jp/j/saiyou/index.html>

【お問合せ先】

防衛省大臣官房秘書課

本省内部部局（国家一般職）採用担当

☎03-3268-3111（内線22115）



↑ 本省内部部局（国家一般職）採用パンフレット



WEB公務研究セミナー
（アーカイブ）

防衛省全体説明はこちら！



防衛省採用チームTwitter

説明会情報や防衛省の魅力をリアルタイムでお伝えします！

みなさまのフォローお待ちしております☆

https://mobile.twitter.com/MOD_saiyou



防衛省事務官・技官採用チームInstagram

説明会情報や防衛省の魅力をリアルタイムでお伝えします！

みなさまのフォローお待ちしております☆

<https://www.instagram.com/mod.saiyou>



地方防衛局

～Regional Defense Bureau～

地方防衛局の役割・組織

地方防衛局は自衛隊及び在日米軍が使用する**防衛施設の整備・管理**、安定的な使用の確保、防衛施設周辺住民の生活福祉向上、地域住民と在日米軍との交流行事の実施等、幅広い業務を行い、国民と自衛隊及び在日米軍との架け橋となっています。

防衛施設が所在する
周辺地域の皆さん

理解・協力

理解・協力

地方防衛局

自衛隊

在日米軍

連携・協力

全国に約2,800名在籍

次長

局長

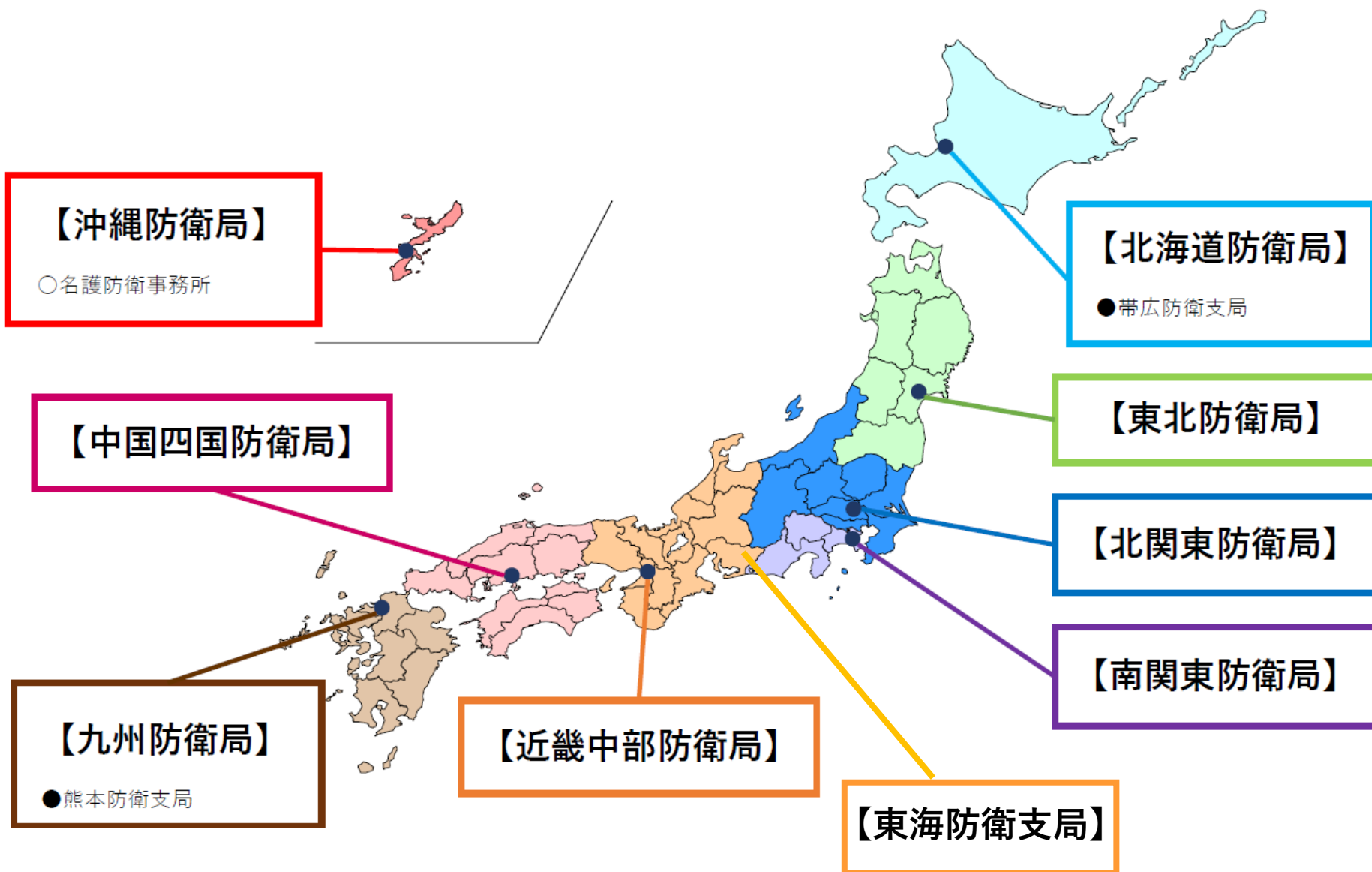
総務部

企画部

調達部

管理部

地方防衛局の所在地



事務職について

自衛隊や在日米軍が円滑に活動するためには、防衛施設の安定的な使用の確保が必要となります。

地方防衛局では、地方公共団体や地域住民の方々の理解と協力を得るための活動や、防衛施設周辺にお住いの地域住民の生活や福祉の向上を図るため、防衛施設と周辺地域との調和を図る様々な施策を行っています。



事務職について

企画部



○地方調整課

地方公共団体や地域住民の方々の理解と協力を得るための業務



○周辺環境整備課

障害防止事業（演習に伴う障害を防止・軽減するための助成）

民生安定助成事業（防衛施設による影響を軽減するための施設整備への助成）

○防音対策課

防音事業（航空機等の騒音の障害を軽減するための助成）

移転措置事業（騒音が著しい区域からの移転補償、土地の買い入れ）



事務職について

管理部

○業務課

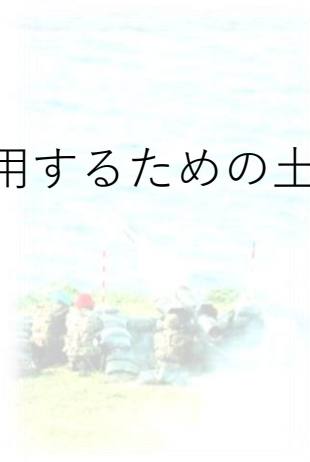
在日米軍の事件・事故による被害者への損害賠償

○施設管理課

防衛施設の管理、移転措置事業で買い入れた土地の整備

○施設取得補償課

防衛施設として使用するための土地の取得、訓練による損失の補償ex) 漁業補償



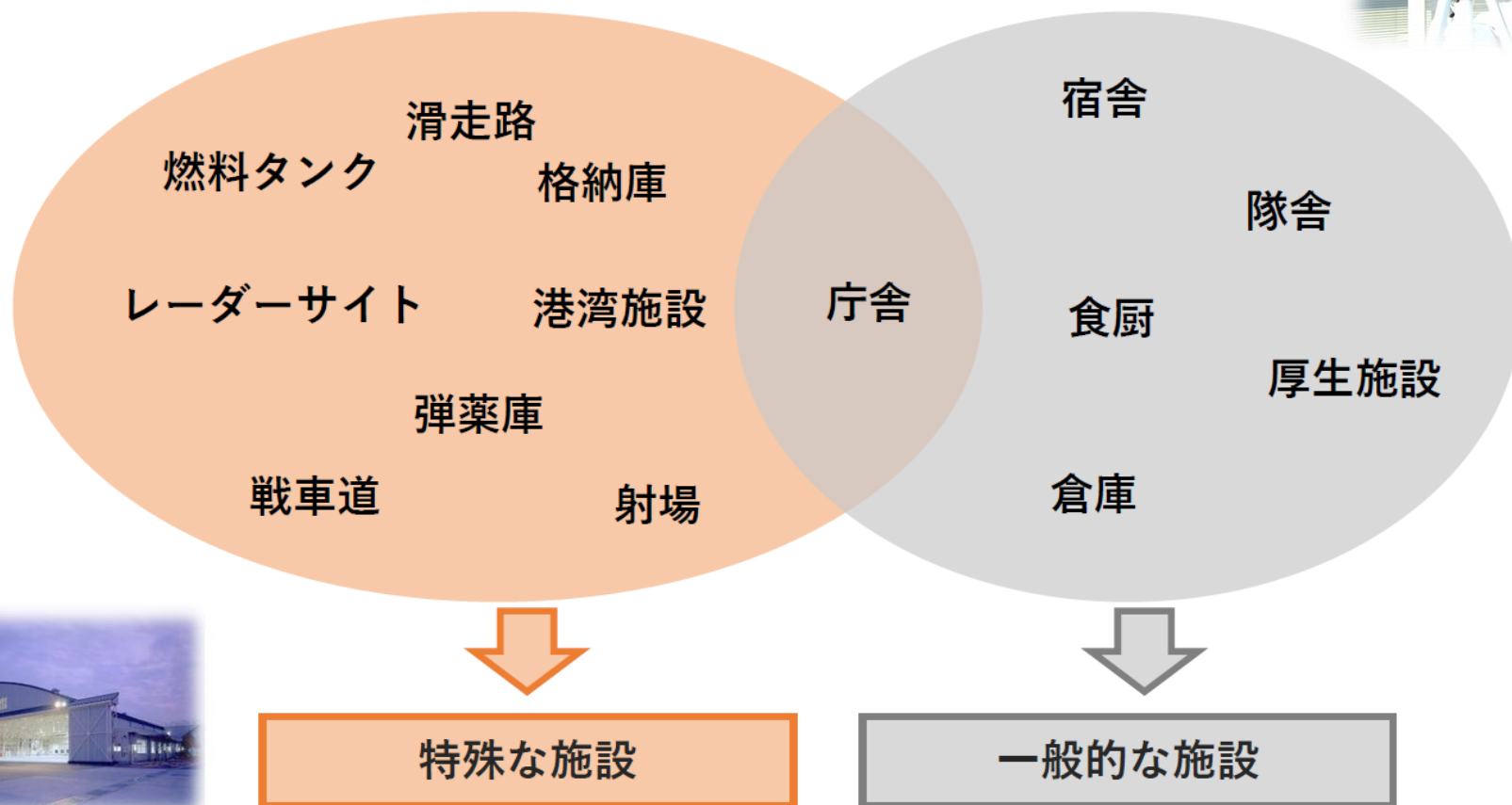
技術職について

地方防衛局の技官の仕事は、

全国各地にある、自衛隊・在日米軍の『防衛施設』を建設すること です。



『防衛施設』の一例



技術職について



施設系

建築・土木・機械・
電気・電子・情報

「防衛施設」の計画・設計・建設
周辺住民との調整業務 を行う

防衛施設ができるまで



施設計画

施設計画の立案
予算要求
地方公共団体と調整

ユーザー(自衛官)
のニーズを具現化

調査・設計

ユーザーとの調整
測量・土質調査
↓
設計・図面作成
各種法定手続
↓
契約

建設工事

工事現場監督
Ex)品質管理
出来形管理



完成・管理

完成後、検査
施設の管理

大規模な改修は
地方防衛局が担当

部隊等へ
技術的協力

監督官として、各種成果品
(調査・設計・工事) を作り上げる

完成

管理



地域に根ざした防衛行政を担う

